

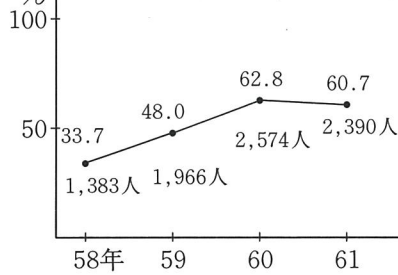
保健婦メモ

一般健康診査

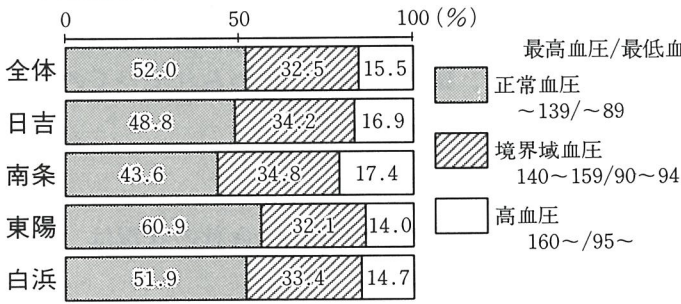
◎健診の意味

今年も年一回の健診の時期になりました。この健診は、四十

(図1) 一般健康診査受診の推移 (S58~61)



(図2) 一般健康診査血圧結果状況 (S61年度)



歳以上を対象に成人病予防のため計測、血圧、尿検査等を行い健康のチェックをするもので、結核、肺がん予防の住民検診(胸部レントゲン)と同時に実施します。

◎受診の大切さ

この健診は昭和五十八年から始まり、今年で五年目をむかえ、次第に定着化しています。

(図一)

結果をみると、例えば六十一年度の血圧状況では、図二のように高血圧予備群ともいわれる境界域血圧の人が約三十パーセントあり、日常生活の工夫で改善されるか、このまま高血圧へと移行してしまうかの境目にきています。健診時にアドバイスを受け、これからの生活にプラスしていきましょう。

また、異常のあった人や、希望者には、血液検査他心電図、眼底検査などの、精密検査を行なっています。六十一年度は、二二二人が受けましたが、一六二人(七二・九パーセント)に、血圧、心疾患、高脂血症、糖尿病などの異常がみつかりました。出た結果よりも、その後の生活が肝心です。町では毎月一日に健康相談を行なっていますので、定期的なチェックのために、ぜひご利用ください。

◎受診の方法

がんの発生率を高める

喫煙習慣

《九月はがん征圧月間です》

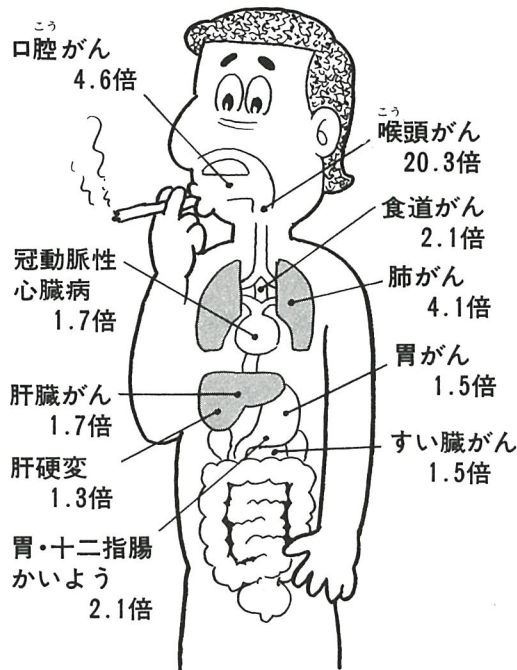
肺がんの原因はいろいろありますが、なかでも喫煙との関係については多くの報告があり、いま改めてたばこが問題になっています。たばこ肺がんの関係は、喫煙量が多いほど、また、喫煙開始年齢が若いほど、がんの発生率が高まるといわれています。

例えば、たばこを吸う人が肺がんで死亡する確率は、吸わない人の四・一倍(図参照)になります。

健診の前に区長さんを通じ受診票(住民検診は茶色、一般健診は緑色)と採尿器が配布されます。お知らせを良く読み会場に持参してください。また、昨年度を参考に会社などで受診した方には配布していませんが、受診票のない方でも受診できます。また、町の健診を受診されない方、他の所で受診した方は、保健センター又は会場へ受診票を返却されるか、保健センターへ電話連絡をお願いします。

☎ ④ 1 1 5 8 (有) 5 4 3 3 0 2

●非喫煙者と比較した喫煙者の死亡率



いのは胃がんで、その次が肺がんです。ところがここ数年、肺がんによる死亡率が急上昇しています。

さまざまながんに影響を及ぼす喫煙

図でみられるように、喫煙は肺がんだけでなく、さまざまながんにも影響を及ぼしています。がんの発生原因が十分明らかでなく、完全といえる治療方法がない現在、喫煙の習慣を改めることは重要な予防方法の一つといえるでしょう。

また、がん検診による早期発見・早期治療は、最も有効な予防方法の一つですので、積極的に受診するようにしましょう。

急増している

肺がんの死亡率

がんは昭和五十六年以来、日本の「病気による死亡原因」のトップを占めています。がんによる死亡の中で死亡率が最も高